

企業分析研究室（地域文化創造系：観光文化・観光まちづくり領域）

担当者

梶原 太一

論文・レポートに使用する言語

日本語

研究可能な領域

- ・キャリア形成／職業選択／職業能力の発達に関すること
- ・企業研究、業界研究に関すること
- ・観光ビジネス（旅行業、宿泊業、土産品業、交通業、観光施設、観光協会）に関すること
- ・NPO（特定非営利活動法人、社団法人、財団法人、ボランティア団体など）に関すること
- ・企業文化、企業倫理、企業不祥事、企業の社会的責任（CSR）に関すること

本研究室の対象は、企業（business organization）です。企業は、「民間」（non-governmental…政府ではない）で何らかの目的を掲げて活動を行う「組織」（organization…共通の目的を持つ2人以上の人間の集まり）を指す言葉です。企業の代表的な存在は「会社」（company）ですが、会社以外にも、たとえば、病院や福祉施設・学校・宗教団体・各種協会・協同組合、クラブやサークル、自治会・町内会など、様々な姿で存在している組織が研究の対象となりえます。また、個々の企業の集まりとしての「業界」（industrial organization）も研究の対象に含まれます。

「分析」（analysis）とは、“細かくみる”という意味の言葉です。したがって、研究を進めていくと対象や範囲がどんどん絞り込まれていき、針の穴を除き込むような気持ちになっていくかもしれません。なるべく視野を狭めず、絶えず全体を見渡して相対化ができるように、研究室の他のメンバーが行っている研究内容に関心を向けることを強く推奨します。

卒業研究のテーマ例（過年度の卒業研究のテーマより）

- ・高知県内で活動する会社／NPO／各種団体の実態調査
- ・観光ビジネスとしてのアニメ聖地巡礼／負の遺産／神社仏閣／土佐の神楽／クルーズ船／集客イベント／酒文化／観光アプリの研究
- ・道の駅／商店街／競馬場／映画館／鉄道／テーマパーク／カフェなどの公共施設・集客施設の運営方法や存在意義
- ・インターネットショッピング業界／宅配業界／旅行代理店業界／化粧品業界／アニメ映画業界／ゲーム業界／スポーツ用品業界／プロ野球業界／バー業界／ファッション業界／音楽業界／新興宗教団体／ブラック企業の研究
- ・特定の商品やサービスの研究（特定のアーティストやアイドルの魅力・成功の理由／流行の商品／位置情報アプリ／医療・健康アプリ／猫カフェ／女性向けサービス）
- ・特定の職業の研究（公認会計士／スポーツ指導者／セックスワーカー） …など

方法

ゼミでは、まず、「組織」に関する問題を論じた基本書を全員で輪読します。次いで、各自の関心に沿って、卒業研究のテーマを設定し、個人報告を進めていきます。

卒業研究の研究方法は、社会科学分野（商学・経営学・経済学など）の基本的な手法を用いますが、①文献研究、②公表された情報の収集と分析（統計的検証含む）、③組織への訪問調査（事例研究）、④あるべき姿を探る規範研究、・・・といったいくつかの研究手法のうち、いずれかを、各自のテーマに照らして、選択することになるでしょう。

備考

主義・主張は問いません。